

あなたの寄付が
誰かの笑顔に
つながります

食でつながる笑顔のボタン

ご家庭で食べ切れずに余っている食品はありますか。そうした食品を寄付すること(フードドライブ)で、必要な人のもとに届きます。また、食品ロスの削減にも貢献することができます。あなたの優しさで、笑顔のボタンをつなぎませんか。



親子で始めたフードドライブ



かしはら りょうま
柏原 龍馬さん

「ごはんを食べられない人にごはんをあげたい!」という娘の言葉がきっかけでした。調べたら自宅の近くのファミリーマートにフードドライブBOXがあることを知り、娘と一緒に缶詰やジュースを寄付しました。「(寄付したものが)どこかの家族に届いたらいいな!」という娘の願いを聞いて、自分が受けた愛で他人を愛してほしいという私の日頃の思いが娘にも通じていてうれしかったです。

児童養護施設での支援がきっかけで始めたフードパントリー

NPO法人ボセイドン&チルドレン協会
相談役 富倉 進さん

企業などから食品の提供を受け、支援を必要としている方々にお渡ししています。支援を受けた方々から「ありがとう。助かります」などの感謝の言葉が活動の原動力となっています。品物を集めることが課題で日々奮闘しています。



フードパントリーってなに?

食に困ったときに無償で食の支援が受けられる場所(活動)です。



社内でフードドライブを推進



ありむら きょうこ
キヤノン(株) 有村 恭子さん

社内で活動を始めた頃は、フードドライブという言葉が浸透していませんでしたが、昼休み中の配信番組や構内放送などで地道な周知活動を行い、今回は150kgを超える寄付が集まりました。子ども食堂に届くと伝えたことで寄付してくれる方が増えたと感じています。「子どもたちの笑顔を少しでも増やしたい」との思いでこれからも活動を続けていきます。

子どもから大人まで訪れる子ども食堂

子ども食堂ヒロ 渡邊 ひろみさん

いただいた寄付で子どもたちにごはんを作っています。子どもたちの笑顔を守り、お母さんやお父さんを少しでも手助けできるようにとの思いで活動を続けています。続けられる原動力は「楽しいから」です。



子ども食堂ってなに?

子どもが1人でも安心して利用できるよう、地域の方たちが無料か低額で食事を提供しています。